

いわき市脱炭素アクションリスト

Road to CARBON NEUTRAL & GREEN RECOVERY

2023 → 2050

CONTENTS

- 1 脱炭素アクションリスト（脱炭素を支える主要な市の施策）

2023年●月●日

いわき市





1 脱炭素アクションリスト

(脱炭素を支える主要な市の施策)

脱炭素を支える主要な市の施策（部門別組織順）
【事業費：令和5年度いわき市当初予算ベース】

1	農業生産振興ブランド戦略プラン推進事業	55,000千円	生産振興課
	スマート農業の導入や省エネなど、本市農業の生産振興に係る事業に対し補助金を交付し、新時代の活力ある農業の実現を図る		
2	環境保全型直接支払交付金事業	959千円	生産振興課
	農業者団体等の化学肥料等低減の取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動へ支援する		
3	いわき市木づかい住宅ポイント事業	13,270千円	林務課
	市産木材の利用促進のため、市産木材を利用し、住宅を新築・増改築等した場合、市農林水産物等と交換可能なポイントを交付する		
4	公共建築物木造・木質化専門アドバイザー事業	1,890千円	林務課
	公共建築物における更なる木造・木質化を推進し、市内林産業の生産力及び持続性の向上を図り、自然環境保全の推進する		
5	森林整備地域活動支援事業	6,750千円	林務課
	森林所有者等による計画的かつ一体的な森林の施業に不可欠な地域活動（森林境界の明確化）を支援する		
6	森林経営管理事業	35,076千円	林務課
	森林経営管理制度を実施するため、意向調査等を記載した全体計画に基づく、所有者への意向調査、境界明確化等を実施する		
7	水産多面的機能発揮対策事業費補助金	400千円	水産課
	沿岸海域の多様な生物の場である、藻場の機能の維持・回復を図るための保全活動を支援する		
8	バッテリーバレー推進事業	7,777千円	産業みらい課
	「いわきバッテリーバレー構想」を踏まえ、技術開発支援や人材育成等の取組みを推進し、産業振興や雇用創出を図る		
9	風力関連産業推進事業	35,900千円	産業みらい課
	風力発電設備の大量導入を見据え、地域産業の高度化や人材育成に向けた取組みを進め、持続可能な産業振興と環境保全の両立を実現		
10	新産業創出支援事業	3,346千円	産業みらい課
	地域特性や既存の産業ポテンシャルを活かせる成長産業のテーマを適宜設定し、支援するなど、市内産業の芽を発掘・育成する。		
11	グリーンイノベーション創出支援事業	9,622千円	産業みらい課
	グリーン成長戦略に位置付けされている14重要分野において、東大先端研と連携して技術開発を実施する事業者を支援		
12	港湾機能高度化事業	1,250千円	産業みらい課
	小名浜港の整備促進及びカーボンニュートラルポート形成の実現に向け、要望活動等を実施		

02

民生業務部門

13	ゼロカーボン・人づくり推進事業	2,283千円	環境企画課
	市民のゼロカーボンアクション実践の推進と、将来世代のヘゼロカーボン教育強化を図るため、普及啓発活動を実施する		
14	市HPなどを活用した環境配慮行動の情報提供	—	環境企画課
	市民、事業者等に対し、地球温暖化対策や環境配慮行動の実践を呼びかけるとともに、各種情報提供を実施する。		
15	出前講座・総合学習		環境企画課
	再生可能エネルギー、脱炭素社会、省エネなどの出前講座等を実施し、幅広い世代に対し、脱炭素等に関する意識啓発を実施する		

03

民生家庭部門

16	ゼロカーボン・アクション促進事業(ゼロカーボンライフスタイル促進補助制度)	18,850千円	環境企画課
	市民等のライフスタイルの脱炭素化のため、住宅向け再生可能エネルギー機器、次世代自動車等導入を補助するもの		
17	(再掲) ゼロカーボン・人づくり推進事業	2,283千円	環境企画課
	市民のゼロカーボンアクション実践の推進と、将来世代のヘゼロカーボン教育強化を図るため、普及啓発活動を実施する		
18	(再掲) 市HPなどを活用した環境配慮行動の情報提供	—	環境企画課
	市民、事業者等に対し、地球温暖化対策や環境配慮行動の実践を呼びかけるとともに、各種情報提供を実施する。		
19	(再掲) 出前講座・総合学習	—	環境企画課
	再生可能エネルギー、脱炭素社会、省エネなどの出前講座等を実施し、幅広い世代に対し、脱炭素等に関する意識啓発を実施する		
20	個人住宅優良ストック形成支援事業	10,666千円	住まい政策課
	個人住宅のリフォーム等を支援することにより、良質な住宅ストックの形成を図るとともに、地域経済の活性化を図る		
21	生垣設置奨励補助事業	3,000千円	公園緑地課
	都市緑化の推進及び保全、豊かな生活環境の創出を図ることを目的に、緑化推進の取り組みに対し補助金を交付		

04

運輸部門

22	次世代交通システムによる交通イノベーション推進事業	3,520千円	スマート社会推進課
	いわき駅周辺エリアの交通利便性向上による中心市街地の活性化につなげることを目的に、小型EVバスの実証運行を行う		
23	ゼロカーボン・アクション促進事業(ゼロカーボンドライブ等導入促進補助)	8,750千円	環境企画課
	市民等のゼロカーボンアクションによる移動及びライフスタイルの脱炭素化のため、次世代自動車等導入を補助するもの		
24	いわき市自転車道路網整備事業	14,000千円	土木課
	良好な都市環境づくり、環境負荷の低減、災害時の移動手段の確保等を図るため、安全で快適な自転車走行空間の整備を行う		
25	公共交通活性化推進事業	3,488千円	都市計画課
	公共交通の利用促進を目的とした、モビリティ・マネジメント施策及び最適な公共交通ネットワークの構築を推進		
26	スマートタウンモデル地区推進事業	7,793千円	都市計画課
	「いわきニュータウンの「土地造成事業用地」」について、スマートシティへの取り組み等、モデル的開発を推進		

05

廃棄物等

27	ごみ減量・リサイクル推進事業	2,568千円	ごみ減量推進課
	リサイクルプラザの利用等による市民・事業者への意識啓発事業や、ごみ減量化に向けた各種施策を展開		
28	下水汚泥等利活用事業	95,109千円	排水経営企画課
	下水汚泥やし尿・浄化槽汚泥を再生可能エネルギーとして有効利用		



いわき市の未来



作成中



脱炭素ライフスタイルと削減効果

- ✓ 市民のライフスタイルにおけるCO₂削減効果の見える化
- ✓ シミュレーションによる削減量のイメージ

脱炭素社会実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が必要です。

01 戸建て住宅をZEHで建築 ⇒ 年間 3,543kg/戸

ZEHとは住宅の高断熱化、高効率設備による省エネで消費エネルギーを減らし、太陽光パネルにより再エネを導入し、エネルギーを創ることで、年間の住宅のエネルギー消費量が正味でゼロとなる住宅です。

02 窓や壁等の断熱リフォーム ⇒ 壁の断熱:年間 142kg/世帯 窓の断熱:年間 47kg/世帯

断熱性・気密性の向上で、熱中症やヒートショックの予防や冷暖房費の節約ができます。さらに、省エネ家電の導入と相乗効果が期待できます。

03 自宅への太陽光発電 ⇒ 年間 1,275kg/人

エネルギー源が半永久的でクリーンな太陽光エネルギーによって、CO₂の排出を抑えることが期待できます。

04 エネ電気への切り替え ⇒ 年間 1,232kg/人

再生エネルギーとは、CO₂を排出せず、かつ繰り返し利用可能なエネルギー源が無くないエネルギーです。

05 食事を食べ残さない ⇒ 年間 54kg/人

日本の食品ロス量は、1人1日あたりおにぎり約1個分。自分の食べられる量の注文をし、もし残す場合は持ち帰りましょう。

06 旬の食材や地産地消の食生活 ⇒ 地産地消:年間 8kg/人 旬の食材:年間 36kg/人

日本は約60%を輸入食品で賄っており、その分フードマイレージが大きくなっています。食品を購入する際は、食品のトレーサビリティ表示、国産の物や旬の物を意識してみましょう。

作成中

07 脱炭素型の製品・サービスの選択 ⇒ 年間 0.03kg/人

商品を選択する時、環境配慮マークの付いた商品やCO₂排出量を見える化して商品に表示されている商品を進んで選択してみましょう。

08 消費エネルギーの見える化 ⇒ 年間 59kg/人

スマートメーター導入によって、ウェブサイトなどを通じた電力等の使用状況や料金などの見える化などが可能になります。

09 スマートムーブ ⇒ 通勤・通学時:年間

自動車のCO₂排出量は、家庭からのCO₂排出量を占めます。徒歩、自転車や公共交通機関の移動手段を積極的に利用していきま

10 ゼロカーボン・ドライブ 電気自動車:年間 242kg/人

ゼロカーボン・ドライブは、再生可能エネルギー電力(再生エネルギー)で走る電気自動車(EV)、プラグインハイブリッド車(HEV)、燃料電池自動車(FCV)を活用した、走行時のCO₂排出量がゼロのドライブです。

作成中

11 ごみの分別処理 ⇒ 年間 4kg/人

「3R」(リデュース(ごみの発生抑制)、リサイクル(再生利用))は、CO₂排出量減につながります。まずは減らす工夫をしてみましょう。

森林などの保全活動 年間 0.8kg/本

森林などの現状は他人事ではなく、一人ひとりの行動の上に成り立っています。地域の環境活動などに参加してみましょう。